

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	○身体拘束をしないケアの実践。 介護保険改定にて運営推進委員会及び身体拘束廃止推進委員会を同時開催により認知症の進行等で身体の危険性があるにも関わらず自由を束縛等で拘束問題を除去する方向になっている。	身体拘束「Y字ベルト」「4点ベット柵」「センサー」等に頼らずチームプレイで「安全」「安心」「安楽」でご入居様が明るく楽しく暮らせる様、身体拘束0作戦の支援を行う。	身体拘束0作戦を目標に限られた職員でのチームが連携した実践活動を行い、ご入居様が退屈しない様、職員と一緒に見守り乍ら手作業や家事お手伝い等行い身体拘束をしない取り組みに務めて行く。	12ヶ月
2	40	○食事を楽しむ事ことのできる支援。 美味しい物を食べたい意識や感情は誰もが持っている事だが高齢や認知症になってしまうと身体機能の低下等で食欲不振になってしまう事がある。	食卓を飾るグルメの雑誌や写真、料理番組等を観る事や月1回の定期的な外食に参加し、雰囲気食欲を引き出す支援を行う。	食欲不振者には「見た目」「彩り」「刻み食やトロミ食」等で食べやすく調理の工夫された物で食事の意欲を引き出す取り組みに務める。又、月1回の定期的な外食に皆で行き、雰囲気を楽しみ乍ら味覚や生き甲斐を感じ食事が出来る様、外食の継続を目指す。	ページヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。